

## イノベーションの創出ーものづくりを支える人材と組織

(尾高煌之助・松島茂・連合総研編 有斐閣)

## 「グローバル経済下の産業革新と雇用に関する研究委員会」(\*主査、#副主査)

- \*尾高煌之助(一橋大学/法政大学名誉教授) #松島茂(東京理科大学大学院  
総合科学技術経営研究科教授)
- 青木 宏之(高知短期大学社会科学科准教授) 生稻 史彦(文京学院大学経営学部准教授)
- 梅崎 修(法政大学キャリアデザイン学部准教授) 中島 裕喜(東洋大学経営学部准教授)
- 西野 和美(東京理科大学大学院 藤田 英樹(東洋大学経営学部准教授)  
総合科学技術経営研究科准教授)
- 山藤 竜太郎(横浜市立大学国際総合科学部准教授) 清水 宣行(JAM 政策・政治グループ次長)
- 吉野 貴雄(元連合経済政策局部長) 青木 健(前連合経済政策局部長)
- 末永 太(前連合雇用法制対策局部長) 弘岡 建史(連合雇用法制対策部長)
- 伊古田 隆一(連合雇用法制対策局)

イノベーションが連続的に創出され、良好な雇用機会が十分に提供されることと、企業の活力は深く結びついている。連合総研は、2007年5月に「グローバル経済下の産業革新と雇用に関する研究委員会」を設置し、日本企業のイノベーションの展開過程について、調査対象として機械工業、鉄鋼業、化学工業、通信業、ソフト産業に属する企業を選定し、各企業の関係者にインタビュー調査を行った。そして、研究技術開発のあり方、技術者の役割、技術者と現場技能者の関係などに焦点を当てながら、これら企業における技術開発・製品開発および人材育成について調査・分析を行った。本書は、こうした2年半にわたる研究成果を最終報告書としてまとめたものである。各章から共通して浮かび上がったことは、イノベーションが創出されている企業において、組織内の人的交流や情報交換(職場連携モデル)が上手く機能していることである。

## 目次

- 序章 グローバル経済下の産業競争力を考える
- 第1章 製品技術・生産技術・製造技術の相互作用ートヨタ技術者のオーラル・ヒストリーからの考察
- 第2章 自動車部品二次サプライヤーにおける技術革新ー昭芝製作所の競争力の源泉
- 第3章 産業機械産業における「探究」を促す人材組織戦略ー粉体機器業界の製品開発
- 第4章 鉄鋼製品開発を支える組織と人材ーJFEスチールの自動車用ハイテン鋼板
- 第5章 化学産業における技術革新と競争力ー三井化学、プライムポリマーによる汎用樹脂事業
- 第6章 情報通信産業における研究活動と事業創造ーNTTの総合プロデュース活動
- 第7章 ソフトウェア産業における経営スタイルの革新ーカスタム・システム開発を支える人事システム
- 終章 現代に生きる歴史